



谷口 武彦 議員

新年度
新たな気持ちで
気を引き締めます！

問

不良空き住宅所有者への今後の支援は

町長

国だけでなく町独自の政策が必要

空き家住宅実態調査

問 空き家住宅実態調査を行ったが、結果は。

町長 空き家などをデータベース化するために調査を行ったが、空き家と思われる建物は140件存在していた。

問 結果をどのように生かしていくのか。

町長 所有者にアンケート調査を行い70件から回答があったなかでは約7割が高齢者、約半数が町外居住者、多くの方が空き家の改修や解体に掛かる費用の支出が困難であり、実態調査で得られた情報で状況把握や所有者が適正に管理し、将来に向

けて不良空き家を増やさないように検討していく。

不良空き住宅の解体

問 不良空き住宅等除去補助金が始まったが、活用はあったのか。

町長 空き家所有者から3件の申し込みがあり、2件を対象とし補助金交付決定をしたが、所有者が解体業者に見積りしたところ、費用を工面できないことから2件とも断念した。

不良空き住宅等 除去補助金

不良空き住宅の解体に要する費用を建物の不良度判定を行い、認められた住宅には50万円を上限に1/2補助する制度。

問 課題は多いとは思いますが今後の考えは。

町長 今回は、国の補助内で行ったが、今後国を超える政策を町で覚悟ができるのか、検討しなければならぬ。

空き家バンク制度

問 空き家バンク制度の令和4年度の活用は。

町長 3件の申請があり、「町内在住者で中学校以下の子どもの同居家族がいる者」に該当し、それぞれ200万円の補助金を交付した。

問 制度の課題は。

町長 新しい住宅は飛びつくが、昭和56年以前の耐震制度での住宅対応が課題である。



町民に好評な
空き家バンク制度と
住環境リフォーム促進事業

問

元気なまちづくり推進室 設置の検証は

地域経済の活性化に 大きく寄与を

町長

訓子府町を元気に

問 16年間でさまざまな

商工業振興策を行ったが、訓子府町の元気につながった事業は。

町長 「住環境リフォーム促進事業」は、町内業者の受注機会の増加と商品券による町内消費の拡大につながった。

「店舗出店等支援事業」は、不足業種の解消や町外から移住者の出店もあり、元気につながっていると考えます。

問 実現半ばの事業は。

町長 「ドラッグストア」のニーズが多く、生活の利便性向上のためにも検討が必要と考えます。

問 元気なまちづくり推進室を設置したが、効果検証は。

町長 商工業・商店街の振興は、私の4期目の最重要課題と位置付け、商工業振興対策を地方創生の視点に立って経済的かつ一本的に取り組み、地域経済の活性化に大きく寄与していると考えている。

このほかに「少子化対策について」の質問をしました。



谷口議員の一般質問を視聴できます